

四日市工場/中央研究所 環境保全

PRTR

PRTR(注)は、人や生態系に悪影響を及ぼしうる物質が、どこから・どこに・どのくらい排出、移動されているかを国が公表する制度です。この制度は、化学物質に関する情報を広く公開するだけでなく、情報公開を通じて企業自身に自制を促すことも狙いとしています。

2017年度の四日市工場を対象となる物質は29種類、中央研究所は1種類となり、国に届出を行っています。

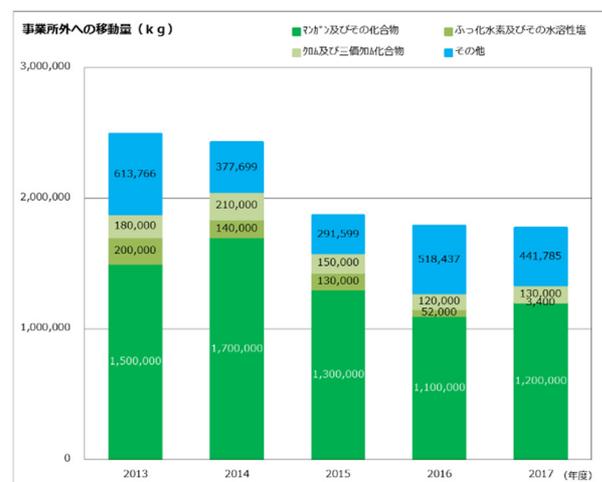
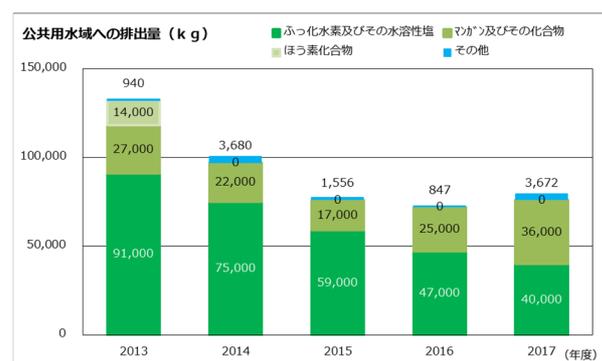
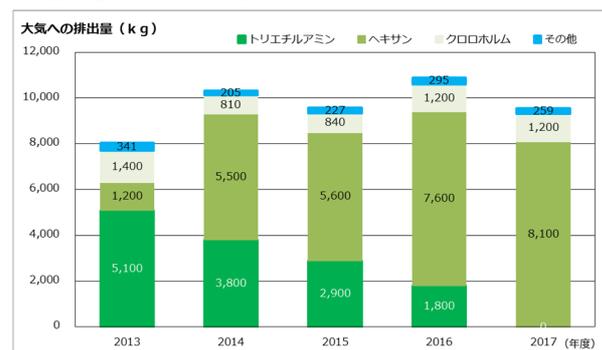
(注) : PRTR(Pollutant Release and Transfer Register: 化学物質排出移動量届出制度)

四日市工場 対象物質

(kg)

No	物質	排出量		移動量
		大気	公共用水域	事業所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	1,400	0
2	アセトアルデヒド	62	0	0
3	アセトニトリル	17	0	1,200
4	アンチモン及びその化合物	0	650	10,000
5	ホスチアゼート	0	0	450
6	塩化第二鉄	0	0	560
7	キシレン	0	0	26
8	クロム及び三価クロム化合物	0	0	130,000
9	フルアジナム	0	0	210
10	クロロホルム	1,200	31	120,000
11	MCP	0	0	450
12	2,4-D	0	0	180
13	ピラゾキシフェン	0	0	23
14	N, N-ジメチルアセトアミド	0	0	41
15	ジメチルアミン	0	0	37
16	チオ尿素	0	0	0.1
17	トリエチルアミン	0	0	0
18	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	0	0	9
19	トルエン	180	5	6,000
20	ナフタレン	0	0	16
21	鉛化合物	0	23	7,300
22	ニッケル化合物	0	63	7,300
23	バナジウム化合物	0	0	240,000
24	砒素及びその無機化合物	0	0	980
25	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	40,000	3,400
26	ノルマルヘキサン	8,100	0	47,000
27	ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル	0	0	3.1
28	マンガン及びその化合物	0	36,000	1,200,000
29	モルホリン	0	1,500	0
計		9,559	79,672	1,775,185

過去5年間の四日市工場における排出量及び移動量の推移を以下に示します。



中央研究所 対象物質

(kg)

No	物質	排出量		移動量
		大気	公共用水域	事業所外
1	アセトニトリル	62	0	2,000
計		62	0	2,000